# 早期診断、早期(低侵襲)治療プロジェクト関連病院セントマーガレット病院参加

膵がん一次黙の臓器一初期の自覚症状がない病気の早期発見

Q. どんな先生が推進しているの? A. 日本医科大学千葉北総病院(印西市)の

『がん診療センター長 中村 慶春先生』

日本医科大学千葉北総病院がん診療センター長中村慶春副院長は、前任地の茨城県神栖市で同様の膵がん早期診断、早期治療プロジェクトを同地域の急性期基幹病院である神栖済生会病院においても4年前から開始し、地域のかかりつけ医療機関の先生方と共に現在も継続しております。その努力が実り、少しずつ早い段階での膵がんの患者さんが発見され、早期の治療へと結びつける事が出来るようになりました。この経験を生かし、当地(印旛医療圏、八千代市等)においても同プロジェクトを推進し、地域における膵がんの治療成績の向上に努めて参ります。



千葉ニュータウンNEWS第040号 (2024年5月11日発行)

日本医科大学千葉北総病院の肝胆膵外科グループに おける膵臓/胆道の高難易度腹腔鏡下手術の経験数は 先進医療での実績を含め、400件を超え全国トップクラス です。早期診断の後の早期治療には、低侵襲腹腔鏡下 手術・ロボット支援下手術を患者さんと腫瘍(膵がん)の 状況に合わせて適応し、執り行っております。

なお、日本医科大学千葉北総病院は膵臓の年間手術件数がとても多いことから、厚生労働省から患者さんに腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術を受けられる施設として認可されている(千葉県内では5施設のみ)とのことです。

上記のような素晴らしい実績を有する「日本医科大学 千葉北総病院」の関連病院として、セントマーガレッ ト病院でも外来診療を受けられるようになりました。 膵臓は、肝臓や腎臓と同じように『沈黙の臓器』と呼 ばれがんが発症しても初期の段階では殆ど自覚症状が ないまま進行します。

進行すれば手術も行いにくい場所にあり、他の臓器へ転移もしやすい膵がんは、治療も困難となります。また、よく聞くがん健診では膵臓は確立された健診がないため、早期発見できる機会が少ないのが現状です。少しでも気になることがありましたら、セントマーガレット病院へご相談くださいませ。

【セントマーガレット病院へ相談される場合】

### 毎週月曜日AM

日本医科大学千葉北総病院 消化器外科の非常勤講師で あり、当院の院長 朝戸医師 外来にご相談ください。

#### 【受付時間】

病院公式ホームページまたは、お電話にて ご確認いただくことをおすすめします。

※学会など休診の場合もございます。ご了承くださいませ。

\ お問い合わせは、こちら /

047 - 485 - 5111



#### (ご不明な点がありましたら…)

病院公式ホームページ または 病院代表番号 047-485-5111へ お電話ください。

## 当てはまる項目 ありますか?

- □ 膵のう胞や膵管の拡張(太まり)を 指摘された
- □ "黄疸"や"黄疸による濃い色の尿" "何度も繰り返す腹痛・背部痛"がある
- □ 糖尿病を初めて発症したまたは、 治療中に急激に糖尿が悪化した
- □ CA19-9などの腫瘍マ−カ−の異常 を指摘された
- □ 膵酵素の値(血清アミラーゼ)の 異常を指摘された
- □ 慢性膵炎と診断された
- □ 膵がんの家族歴がある (親子、兄弟姉妹などの血縁者に 膵がんと診断された方がいる)

3 つでも 当てはまったら→→

セントマーガレット病院